

教育用語辞典

「教育用語辞典」第10回目です。学習指導要領の改訂を控え、関連のある言葉を選んでみました。今回は丸数字のついた言葉の真偽を判断してください。「偽」の場合は正しい言葉も考えてみてください。

【小1プロブレム】

レベル★

「しょういちぶろぶれむ」

授業が始まってから教室に戻らない、落ち着いて教師の話が聞けない、授業中に友達と騒いだり教室を歩き回ったりするなどの、小学校に①入学したばかりの1年生に見られる集団生活への不適応行動が、いつまで経っても落ち着くことなく、②数年も続くこと。

比較的自由に生活できた幼稚園や保育園から、決まりの多い小学校へと環境が大きく変化することへの戸惑いの原因とされるが、親の甘やかしやしつけの欠如も原因のひとつだという声も聞かれる。

【中央教育審議会】

レベル★★★

「ちゅうおうきょういくしんぎかい」

文部科学省に置かれている審議会。旧文部省関係の審議会のうち、中央教育審議会を母体として、生涯学習審議会、教育課程審議会など、7つの審議会の機能を整理・統合して設置された。委員の数は30人以内で、任期は③3年である。

所掌の事務は、文部科学大臣の諮問に応じて調査審議し、④文部科学大臣や関係行政機関の長に意見を述べることである。教育制度分科会、生涯学習分科会、⑤初等高等教育分科会、大学分科会、スポーツ・青少年分科会の5つの分科会が置かれている。

【知識基盤社会】

レベル★★★

「ちしきぎばんしゃかい」

新しい知識・情報・技術が、政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として、飛躍的に重要性を増す社会のこと。

知識基盤社会の特質として、「知識の⑥二極化が一層進む」、「競争と技術革新が絶え間なく生まれる」、「幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が一層重要になる」、「性別や⑦年齢を問わず参画することが促進される」、「などを挙げることができる。



文 | 山中伸之 (栃木県壬生町立睦小学校) イラスト | 吉田朋子

【解答】①○ ②× 数か月 ③× 2年

- ④○ ⑤× 初等中等教育分科会
- ⑥× グローバル化 ⑦○